

51,780人

(H24年度 全国高校退学者数)

「学校に適應できない」

「進路を変更したい」(就職・他の学科等)

○地震・津波など自然災害、家庭環境の変化
など自分ではどうしようもない理由

×「自分の進んだ高校、学校生活について良く
知らなかった。」 ×「自分の進路を良く考えて
無かった。」

×「友達が受検するから」

×「周りの人が言うから...」

一度しかない自分の人生

中学卒業＝最初の人生の岐路

自分の夢・目標に向かって努力するのは誰？

自分自身です！

君たちには無限の可能性がある

なにもしない→

可能性はいつまでも可能性のまま
それに向かって努力したときに、

可能性が大きく広がる

中3は、中学生生活残り4ヶ月！

1・2年生の皆さんも学活の時間などに自分の
将来と生き方について考えてみて下さい。

今日から

1・2年生は、教育相談。

3年生は、予備懇談。

12月には、希望進路を決める

20日から、期末テスト！

成功を決定づけるのは
能力でなく
姿勢だ!!

暦では立冬も過ぎ、朝晩はすっかり寒くなり冬の気配もする今日この頃です。体調は大丈夫ですか？

さて、51780人、これは何の数字だか解りますか？H24年に全国で高校中退した人の人数です。退学した時期は、高1が大半で、「学校に適應できなかった」「進路変更したい」という理由がほとんどです。地震や津波など自然災害や家庭環境が変化するなど自分ではどうしようもない理由は、仕方の無いことですが、「自分の進んだ高校、学校生活についてよく理解してなかった」「自分の進路を良く考えて無かった」という人が目立ちます。「友人が受検するから自分受検...」「周りの人が言うから...」このような理由で希望進路を決めてしまうと途中で止めてしまうことになる可能性があるということです。

一度しかない自分の人生をです。皆さんにとって、中学卒業というのは、最初の岐路ですね。自分の夢・目標に向かって努力するのは誰ですか？自分自身ですよね。勿論、義務教育が終わりですから高校に進学しないという選択もありますが、「高校は出ておいた方が...」という声があるのも事実です。「子どもには、無限の可能性がある」確かに中学生の皆さんには沢山の可能性があります。でも、何もしなければ、可能性はいつまでも可能性のままです。もっと言えば、「夢や志を持って、それに向かって努力したときに、可能性が大きく広がると言えるのです。

3年生の皆さんは、中学生生活最後の4ヶ月となっています。自分の進路をよく考え、周りの人のアドバイスも参考にし、情報収集をしっかりと決めていって下さい。

1・2年生の皆さんも学活の時間などに自分の将来と生き方についてよく考えてみて下さい。今日から1・2年生は教育相談、3年生は予備懇談があり12月には希望進路を決めなくてはなりません。20日からは期末テストです！

最後に名言の一つ。「成功を決定づけるのは能力ではなく、姿勢です。」点数アップも皆さんの姿勢にかかっています。今日から、頑張ることを期待して今日のお話を終わります。